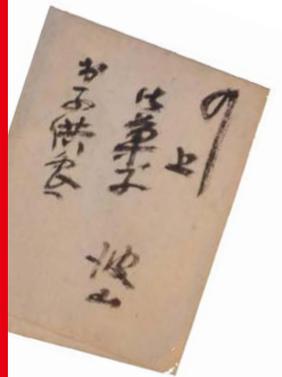
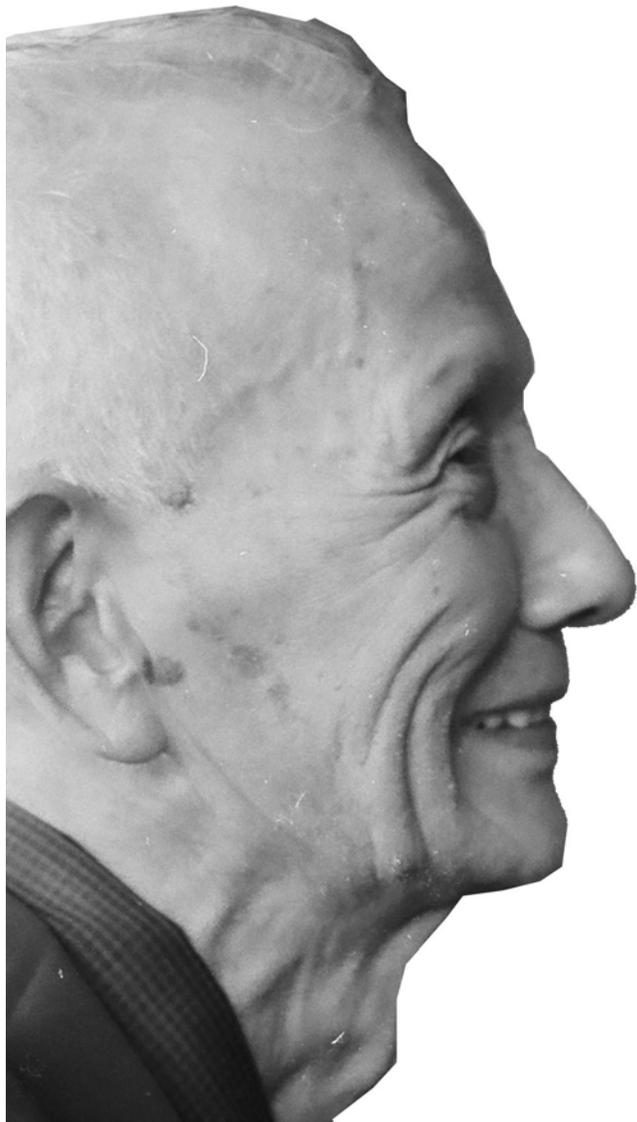




板谷波山が周囲の人たちに残したプレゼントの数々 それはもうひとつの波山作品



波山流ギフトの作法とは



ギフトの達人・板谷波山

2017年 3月1日(水)～5月7日(日)

開館時間：午前10時～午後6時(入館は午後5時30分まで)
休館日：毎週月曜日(3月20日は開館、3月21日は休館)
入館料：200円・団体150円(10名以上)高校生以下無料
※しもだて美術館(関連展示あり)との共通券あり
※障がい者手帳等をお持ちの方と付き添いの方1名は入館無料

主催：一般財団法人 波山先生記念会
協賛：関彰商事株式会社
協力：下館・時の会
問い合わせ：〒308-0021 茨城県筑西市甲866-1(田町)
TEL：0296-25-3830

板谷波山記念館



ギフトの達人・板谷波山



彩磁菊花図額皿 紫金磁珍果文花瓶



高砂羽織※ 鈴木作平像※

しもだて美術館 関連展示

波山記念館の休館日のほか、
3月7日～10日、4月17日～21日は臨時休館
※は、4月22日～5月7日のみ展示

板谷波山は陶芸史上に輝く珠玉の作品を生み出す傍ら、周囲の人たちに対して、独自の心に残る贈り物を残してきました。それは波山の善意の象徴として語られる故郷のお年寄りに贈り続けた鳩杖や、戦没者遺族への観音像だけではありません。知人や家族のお祝いやお悔み、あるいはお見舞いやお礼、その時々には波山は、心温まる、創意に溢れるプレゼントを続けていたのです。孫のための手作り絵本もあれば、即興でコヨリを結んで作るおもちゃ、友の死に際し徹夜で描いた100枚の観音像、新婦にそっと差し出した、四葉のクローバーなどなど、どれもが波山の人柄が偲ばれる、もうひとつの珠玉の波山作品といってもいいものです。

このたびの企画展では、これらの贈り物を出来る限り収集、展示し、波山式贈答の流儀、波山流ギフトの作法の神髄を探りながら、波山の間人像に迫りたいと思います。

また期間中、しもだて美術館では、所蔵作品の関連展示もごさいます。併せてお楽しみ下さい。



吉澤邸のステンドグラスは波山からの新築祝い



婚礼祝いに贈った波山手書きの「仙桃文帯」



関連プログラム

第14回 波山のタベ

「ギフトの達人・板谷波山」

3月3日(金)午後6時開演

会場:アルテリオ(しもだて美術館)1階集会室

ゲスト:荒川正明(学習院大学教授)、

村田あき子、板谷駿一、他の皆さん

主催:下館・時の会

開館時間:午前10時～午後6時

(入館は午後5時30分まで)

休館日:毎週月曜日

入館料:200円・団体150円(10名以上)

高校生以下無料

※しもだて美術館との共通券あり

※障がい者手帳をお持ちの方と

付き添いの方1名は入館無料

住所:〒308-0021

茨城県筑西市田町甲866-1(田町)

TEL:0296-25-3830

■ JR水戸線・真岡線・常総線

下館駅下車 北口より徒歩10分

■ 常磐自動車道谷和原ICから国道294号線で約40km